



市議会 だより

- ・ 9月定例会の主な審議事項
- ・ 一般質問 ココが聞きたい
- ・ 常任委員会行政視察報告
- ・ 議案等（審議結果）一覽

14 12 4 3

さざ

第58号



平成30年10月12日 平清水 岩田地区

8月1日開催 第6回(8月)臨時会の審議事項

◎議案第81号 佐渡市ケーブルテレビ施設羽茂地区改修工事第1期請負契約の締結について

佐渡市ケーブルテレビ施設羽茂地区改修工事第1期について、平成30年7月10日に執行した一般競争入札における落札者と請負契約を締結するものであり、全会一致で可決された。

請願・陳情の処理状況

平成30年第1回(3月)定例会で採択した請願に対しての市の処理状況を報告します。

請願 第1号

希望ある佐渡市建設計画につながる合併特例債の有効活用についての請願

主管課 企画財政部企画課

◆処理経過及び結果

合併特例債の発行期限を5年間延長する「東日本大震災に伴う合併市町村に係る地方債の特例に関する法律の一部を改正する法律案」が、平成30年4月18日に国会で成立した。

これを受け、庁内において平成31年度から5年間に実施する建設事業計画の検討を行った。

その結果、昭和56年の開院から既に37年が経過し、施設の老朽化が進んでいる両津病院の移転・新築事業を最重点と位置付け、合併特例債活用事業についても、両津病院の移転・新築事業に関連する佐渡中央文化会館改修工事等を優先的に実施する案を策定した。

その他の合併特例債活用事業については、将来の財政負担を軽減するための施設の統廃合に係る事業を実施する案を策定した。

今後、島内10か所における説明会の開催など、市民の皆様にご理解をいただけるよう、丁寧な説明を行う。

請願・陳情の提出期限についてお知らせします

請願・陳情は、原則的には定例会において対応するものとしています。

当該定例会告示日(議会招集日の概ね8日前)までに受理したものについて、その取扱いを議長の意見を付した上で、議会運営委員会に諮って決定します。

ただし、緊急性があり、かつ、次期定例会に持ち越すことが適当でないものにあつてはこの限りではありません。この場合の緊急性の可否については、議会運営委員会で決定します。

※詳細については、議会事務局へお問い合わせください。

決算審査特別委員会を設置した

委 員						副 委員長	委 員 長
中 川 直 美	近 藤 和 義	中 川 隆 一	広 瀬 大 海	宇 治 沙 耶 花	北 啓	山 田 伸 之	金 田 淳 一

平成29年度の佐渡市の決算認定の14案件について、決算審査特別委員会を設置して審査することに決定しました。

12月定例会までの閉会中に審査が行われ、12月定例会の本会議で採決される予定です。

9月7日~9月27日開催 第7回(9月)定例会の審議事項

条例案3件、予算案10件を可決

所管の委員会の主な議題の審査経過は次のとおり。

総務文教常任委員会

◎議案第82号 佐渡市ケーブルテレビ放送施設の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、平成9年10月に整備したケーブルテレビ羽茂地区改修工事に伴い、光回線終端装置に関する用語の定義など所要の見直しの為、条例の一部を改正するものです。審査の中では、関連する事項として佐渡市ケーブルテレビエリアの今後の整備計画等についても議論がされた。

◎議案第83号 佐渡市税条例等の一部を改正する条例の制定について

本案は、平成30年度税制改正のうち平成30年10月1日以降に施行される事項等につき税条例の一部を改正するもので、主な内容は、所得税法の改正による基礎控除額等の見直しに係る調整、たばこ税の税率について、段階的に引き上げを行うものである。たばこ税の税率が引き上げられることによる影響や施設等での禁煙、分煙が進む中で、たばこ税の減収に繋がるのかについても議論が及んだ。

市民厚生常任委員会

◎議案第85号 平成30年度佐渡市一般会計補正予算（第3号）について

補正予算で時間をかけた主なものは3件。

- ①佐和田学童保育施設整備事業は、現学童クラブの建物の老朽化等から新築移転という提案だったが、既存の施設利用の可能性や費用の比較検討をした。結論は、計画に時間をかければ既存施設利用も可能だった。しかし本提案も唐突な上、公共施設全体の計画の成り行きの不透明さから困難と判断し、遺憾の意見を付した。
- ②旧羽茂保育園跡地整備事業は、経費が高額なため今後の借地解消への影響を考え、再度市が地権者と交渉するよう意見を付した。

◎議案第92号 平成30年度佐渡市病院事業会計補正予算（第1号）について

両津病院の医療機器等購入経費については、機器の特殊性から随意契約により相見積もりを取らない傾向を解消するよう意見を付した。

産業建設常任委員会

◎議案第108号 平成30年度佐渡市一般会計補正予算（第4号）について

8月31日から9月1日に発生した豪雨災害、並びに9月4日から5日に発生した台風21号災害に係る農地・農業用施設災害復旧事業が予算計上された為、被災した主な農地を視察したが、道路沿いや緩やかな傾斜がある農地が被災していた事がわかった。佐渡市の場合は復旧費の25%が農地所有者の負担となるが、審査の中で所有者負担が多額になる為、復旧工事の了承を得られていない方がいる事がわかった。また、県内20市の状況を調査したところ、米がブランド化されている一部自治体では所有者負担率が10%以下となっていた。これからの佐渡の農業を守るという為だけでなく、治山治水という観点からも所有者負担割合の変更を検討するよう意見を付した。

9月定例会においては、14人の議員が一般質問を行い市政について質問しました。

質問・答弁の内容は質問者本人が要約したものです。



一般質問



ココが聞きたい!!

- ◆ 中村 良夫 議員 ④
農業再生、保育室・小中学校にエアコンを
- ◆ 坂下 善英 議員 ⑤
佐渡市が設立した3法人について
- ◆ 山田 伸之 議員 ⑤
防災対策の強化とヘルプカードの推進を
- ◆ 上杉 育子 議員 ⑥
農業振興について
- ◆ 宇治 沙耶花 議員 ⑥
長期展望に立ち市政を実行せよ
- ◆ 広瀬 大海 議員 ⑦
障がい者雇用支援企業ネットワークの設立を
- ◆ 金田 淳一 議員 ⑦
両津病院新築への大きな課題について
- ◆ 北 啓 議員 ⑧
幼稚園、学校給食費の無償化について
- ◆ 中川 直美 議員 ⑧
ビジョンなき合特償活用でなく住民議論で
- ◆ 室岡 啓史 議員 ⑨
①汗②知恵③金を出すの優先順位を大切に
- ◆ 荒井 眞理 議員 ⑨
市民本位の平和、教育、福祉、医療を
- ◆ 祝 優雄 議員 ⑧
準備不足のまま病院建設を進めて良いのか
- ◆ 渡辺 慎一 議員 ⑨
基金除外は市民を欺くもの
- ◆ 近藤 和義 議員 ⑨
本庁舎建設撤回は合併協定違反で60億の損失

一般質問

農業再生、 保育室・小中学校にエアコンを



中村 良夫 議員

【質問】 すべての保育室・小中学校に、計画的にエアコン設置すべきと考えるがどうか。

【市長】 熱中症対策として、保護者から保育室へのエアコン設置の要望があり、公立保育園の全保育室にエアコン設置した。

認しながら計画をすすめていく。

【質問】 新生児聴覚スクリーニング検査費用（自己負担5000円）を公費負担にすべきではないか。

【市長】 新生児の聴覚検査（生まれたばかりの赤ちゃんを対象にして、耳の聞こえを調べるため、分娩を取り扱う県内すべての医療機関で実施されている）の重要性は認識しており、医療費の助成は総合的な視点に立つて支援していく。

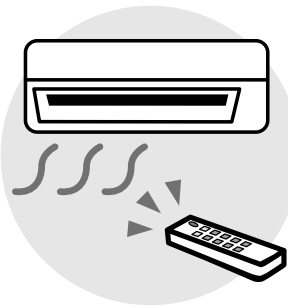
【質問】 県は検査が効果的であれば、公費負担をすすめたいと考えているが、市の対応を問う。

【市長】 県の補助制度が決まれば、各自自治体と同様に市も対応する。

【質問】 集落の70歳を超えるAさんは「人の田んぼもつくっているが、今後のこと

を考えるとつづれなくなる。集落には若い人もいない、頼む人もいない」さらに「自分の田んぼさえつづれなくなる不安がある」と切実な相談があった。農業再生、多様な担い手をどのように対応するか。

【市長】 農業従事者の高齢化と後継者不足は、佐渡市に限らず日本の農業の深刻な問題となっている。佐渡市では、中山間地域等直接支払交付金による条件不利地域への農業生産活動支援、さらには法人化や大規模化など担い手への農地集積を推進するとともに、新規就農者の確保にこれからも取り組んでいく。



【教育長】 小中学校へのエアコン設置の経費概算は算出している。平成31年度の文部科学省の概算要求の中にクーラー設置を加速する対策費が盛り込まれるので、補助制度の具体的内容を確認

一般質問

坂下 善英 議員

佐渡市が設立した 3法人について



【質問】 佐渡観光交流機構の現段階の成果、課題、今後の対策、自立スケジュールと観光振興課とのすみわけについて問う。

市長 地域利益のため、プラットフォームとしての組織構築を開始しており、これまでのスピード感に対する評価している。今後はターゲットに合わせた戦略構築を進めるとの報告を受けている。自立運営はビジネスモデルや人材の充実を踏まえ5年を判断すべきめどと考えている。観光振興課とのすみわけについては最終的に言うとう観光庁等々諸々な折衝については行政が、実際の商品戦略は観光交流機構が主体的に行い、行政の役割はコンパクトにすべきと考えている。

【質問】 佐渡市文化財団は立ち上げたばかりだが、税金

の垂れ流しを防ぐうえでも具体的な計画策定は進んでいると思うが、本年度主要な事業についてと自立運営についての道筋はどのように検討しているのかを問う。

市長 伝統芸能、伝統技術の継承と活用に加え情報発信の中核として計画している。現在地域や各団体とも意見交換を行い、文化の保全、活用に向けた事業化への調査を進めているところである。財団の性格上100%の自立運営は難しいと考えているが、文化財活用事業等により自主財源を確保しながら地域活性化につながる事業展開が必要と考えている。

【質問】 佐渡スポーツ協会の役割はイベントの実施、サテラなどの指定管理、地区体協だと思いが、現段階における市長の評価と組織

の在り方、今後の方向性について問う。

市長 ビジネス的視点からスポーツ事業による地域活性化への取り組み、チャレンジ姿勢や努力が不足しており合格点に達していないと判断している。今後はビジネス的視点を持った組織体制への転換が不可欠と考えている。

【質問】 地域要望は道路の修繕、街灯の整備、農地・農道の整備など、安心安全に生活するために必要な支援と考えるが見解を問う。

市長 要望の項目ごとの緊急性を勘案し、優先順位をつけ、実施時期を決定し安心して暮らすために必要な整備、要望にはしっかりと予算づけを行い、迅速に対応したいと考えている。

一般質問

山田 伸之 議員

防災対策の強化と ヘルプカードの推進を



【質問】 市の防災機能の強化には明確な基準・計画をつくり、それに基づいた形で進めるべきとの観点から、業務継続計画の策定を指摘し本年6月に策定された。しかし内容は具体性に欠けたものと言わざるを得ない。各課で統一性もなければ共有もされていない。改めて市長が陣頭指揮をとって、しっかりと計画をつくるべきかどうか。

市長 今後も一つ一つ随時修正して、より綿密なものにしていく。

【質問】 台風や前線などある程度予測可能な災害には、事前の備えで被害を抑えられることから、前もって何をすべきか時系列で業務をまとめたタイムラインの策定が各自自治体で進められている。佐渡市においても策定すべきかどうか。

市長 点検の内容を精査し

【総務部長】 今後策定していきたい。

【質問】 台風21号が佐渡を通過したが、市民に自助・共助を啓発する上でも、事前に自主避難所を設置すべきではなかったか。

【総務部長】 今後の検討課題として。

【質問】 花角県知事は防災減災対策を重視する意向を示している。この機会を捉えて、市で危険箇所を洗い出し、整備を進めるべきかどうか。

【建設部長】 危険箇所のリストアップはできると考えている。整理して県にも要望をあげていきたい。

【質問】 通学路の危険ブロック塀は、子どもの安心安全の確保のため、早急に撤去の対応をすべきだがどうか。

た上で、対応すべきは速やかに行いたい。

【質問】 人口減対策について。離島佐渡にとって重要なのは雇用の創出だ。例えば漁業の担い手育成に、農業での里親制度を導入することも含め、どのように取り組んでいくのか問う。

【産業観光部長】 漁業の里親制度は現在、各漁業協同組合から意見をいただきながら検討を進めている。

【質問】 ヘルプカードは、外見からわかりにくい障がいや病気のある方が、援助や配慮を必要とする際に知らせるもので、全国的に普及している。佐渡市も導入すべきかどうか。

市長 県でも検討を進めており、県全体で統一されたヘルプマークにより、市でも実施に向けて検討したい。